



# おお い ちょう 大 銀 杏

喜多方市立慶徳小学校 学校だより  
令和3年11月12日(金) 第46号  
発行責任者 校長 石田 秀喜

【スローガン】 育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子

## 「しつけ」と「おしつけ」

「おはようございまーす！」当たり前のようにいつもさわやかな笑顔であいさつをしてくれる子どもがいます。箸やお椀を正しく持ち、姿勢よく給食を食べている子ども、人をほっとさせる言葉づかいができる子ども、履き物をいつもきちんとそろえられる子ども、ほうきを上手に使いこなしてそうじをしている子ども……。そんな子どもたちの姿をたくさん見かけます。そのたびに、「この子は、今まで素晴らしいしつけを受け、それをきちんと自分のものとして身につけて育てているんだなあ」と感心しています。



以前メディアで、コンビニのおでんを笑いながらつついている動画をネットに流した大人の姿が報じられたことがありました。しかもこの男性は2児の父親でもあったとのこと。このニュースを見たとき、この人は、何か大事なことを身につけないままに歳を重ね大人になってしまった人なんだなあと思いました。

「個性を大事にする」「のびのびと育てる」ことと、子どものしたいようにさせることは違います。人とかがわりながら社会の中で生活していく上で必要なことは、きちんとしつけていきたいものです。(もちろん、本校の保護者の皆さんはすでにされています。)

とはいえ、思ったようにいかないのが現実です。どうして大事なかを教え、やろうとしている姿を見逃さずほめ、言われなくてもできるようになったら大いに認めてあげることが大切です。妥協や根負けすることなく、時には「おしつけ」るくらいの厳しさも必要だと考えます。もちろん、おとなの都合であれこれと強制するような「押し付け」になってはいけません。

## 収穫感謝祭 (11/12) ～ 農業科支援員さんに感謝！！～



今日は、農業科支援員さんをお迎えし、収穫感謝祭を実施しました。これまで、各学年で育ててきた野菜や米を使ってカレーを作り、みんなで味わいました。素材のおいしさが溶け込んだカレーをお代わりしながらいただきました。会食のあと、体育館で感謝の集いを行いました。各学年の代表の感想発表、そして6年小島さんが児童を代表して、支援員の皆さんへの感謝の言葉を述べました。支援員の皆さんに改めて感謝申し上げます。

## 「タグベルト」のご寄贈が・・・

このたび、青少年育成慶徳地区会議(内島聖会長)及び慶徳町子ども会育成会連絡協議会(佐藤仁彦会長)より、子どもたちのためにと、「タグベルト」を20セットご寄贈いただきました。子どもたちの体力向上に向け、今後タグラグビーや鬼ごっこなどで大いに活用させていただきます。先日、早速5・6年生が、タグベルトを使ってしっぽとりゲームをして楽しんでいました。

